

A close-up photograph of several pink roses and scattered petals, all covered in glistening water droplets. The background is a plain, light color, making the vibrant pink of the flowers stand out. The text is overlaid on the upper portion of the image.

# 恋するキミの代弁者

～恋愛編～

キミイ

## 目次

---

君が好き  
切ない  
あなたの未来  
青空  
お願い

後ろ姿  
見えないから  
バイバイ  
移り香  
君に会いたい

魔法の言葉  
電話  
ナイショ  
愛蜜  
気づいたの

欲しかったもの  
さみしいから  
優しくて甘えん坊な君へ  
君に逢える  
知ってる

君と僕の夢  
素直になれなくて  
君に胸きゅん  
可愛い君に  
恋のベクトル

私の夢  
冷たくしないで  
もう一度  
別れ  
信じる

君のため僕のため  
溢れて止まらない  
別れの予感  
優しさの向こう  
スパイス

何度でも  
オアシス  
この愛をを信じて  
待つわ  
かっこいいキミ

恋する幸せ  
好きの重さ  
フリーダム  
始まり方  
また明日

空を見上げて  
葛藤  
寂しい時  
Love Power  
恋人の好き

君を  
君が消えない  
秋の初めに  
寂しくて  
たまには

ラブレター  
あなたのハート  
愛を込めて  
寂しい今  
会ったらすぐに

空  
名も知らぬ君に  
ずっと  
君が  
情事

負けないで  
思いやり  
オアシス  
KISS  
大切

君が好き

小さい事だけど

些細なことだけど

あなたの言葉に

一々浮き沈み

優しい言葉は私を心あたたかにし

励ましの言葉は勇気をくれ

褒め言葉に浮かれ

甘い言葉に胸がときめき

艶の言葉に熱くなる

でも欲しいのは

君が好き

あなたの気持ちの言葉です

何気ない会話もいい

あなたと共感したり

感動したり

意見したり

もちろんそれも大切よ

だけど聞きたいの

たまには

あなたの気持ち

君が好き

友達じゃない

戦友でもない

あなたと私は恋人

だから

時々見せよう

君が好き

時々見せてね

君が好き

なんて小さな小さな私の想いは

言葉にする事はなく

一生私の胸のうち

届きそうで届かない胸のうち

今日もあなたが私の隣で笑っているから

それでいい

切ない

切ない

切ない

切ない

あなたは切なくならないの？

私はあなたに会えない時

四六時中あなたの事考えてるよ

寝ても覚めてもあなたでいっぱい

あなたがいっぱいだと苦しくなるの

胸が痛くなるの

切ない

ねえあなたは？

あなたは私に会えなくても平気？

私の事考える？

胸が苦しくならない？

私だけこんなに好きなんて...

ちょっと悔しい

ちょっと悲しい

やっぱり切ない

切ない

切ない

切ない

あなたが好きで切ないです

私の好きに気づいて欲しい

ほら、私を思い出したら携帯を取って！

その指で私の心の不安を取り除いて！

『なにしてたの？』

その言葉だけで私の切なさはなくなり笑みになるから



あなたの未来

届きそうだった

いえ

一度は届いたはずなのに

でも届かない私のハート

あなたはもう違う方を向いてる

あなたと私の見てる明日は違う

きつともう私達の未来は重ならない

だけど前に突き進むあなたは前よりも

もっと素敵だから

もっと輝いているから

私は遠くであなたを見てるよ

違う場所からあなたの輝ける未来を見守っている

あなたの明日が素晴らしい日になるように

願ってる

青空

あたたかな陽射しが私の頬を撫でる

そよそよと風が笑う

空は

空は

高く

青い

誰もがこんな日は

ノンビリと過ごしたくなるような

春穏やかな昼下がりに

なのに

私の胸は

苦しくなるの

だって

となりにあなたがない

あなたとこの時間を過ごせたら

あたたかな陽射しで心が安らぎ

そよそよと笑う風は甘く聞こえ

空は

空は

青空は私の心をクリアにしてくれるはず

でも一人だと

あたたかな陽射しは眩し過ぎ

そよそよ笑う風はヒソヒソ嘲笑い

空は

青空は

憎らしい

憎らしい程変わらず青い

だから

目を綴じる

あなたと私が青空の下

手を繋いで

そよそよと揺れる緑の中で

太陽の光をめいっぱい浴びて

笑って

穏やかに過ごすの

目はまだ開けない

もう少し

もう少しだけあなたと

手を繋いでいたいから

お願い

ねえ 私のお願い聞いてくれる？

私はワガママで

気分屋で

でも寂しがり屋なの

だからね

朝はおはようと笑いかけて

あなたのおはようで一日が楽しくなるから

時々でいい

何してるの？って

気にかけて

それだけで安心出来るから

そして一日の終わりには

おやすみって言って

それで私は素敵な夢を見れるから

あなたと私の二人だけ甘い夢

逢えない日

不安になるの

だから時々聞きたくなる

あなたの好きを

時々でいい

好きと言ってね

私はその二文字で安心する

その時は



少し照れるけど

私も好きと答えるから

後ろ姿

最後に見たのはあなたの後ろ姿

笑い顔でもなく

泣き顔でもなく

あなたの後ろ姿

無情にも私から遠ざかる後ろ姿

あなたは振り返りもしない

私を一人残し

去っていく後ろ姿

ねえ、振り向いて

もう一度駆け寄り

愛していると

強く抱きしめて

そんな願いは届かない

あなたの愛はもう違う誰かに向ってるから

「君じゃない」

愛は消えると

人はこんなにも残酷になる

分かってる

分かってるの

もう終わりだって

けどまだ私の愛はあなたにある

行き場のない思いが

私を苦しめる

熱く愛し合った日々が

偽りだったわけじゃない

微笑んだあなたは

間違いなく私だけのあなただった

どこですれ違ってしまったの？

私の何がいけなかったの？

答えは出ない

けれどあなたがいけない事実を

私はまだ認められず

胸が痛い

明日も明後日も容赦無く訪れるのに

私はまだ立ち止まったまま

一人で歩けず

あなたの後ろ姿の

面影だけを

届かないのに

手を伸ばす

きっと

明日も

明後日も

まだ私の愛は

あなたに向ってる

あなたを求めている

愛しています

見えない後ろ姿に

心が叫ぶ

見えないから

君に会いたいよ

僕はあれこれ忙しいから

中々君に会えないけど

いつも頭の端っこに

君はちょこんと座ってる

今君は何してるの？

君が見えないと

物凄く不安だ

僕の知らない君を

誰かに見せてはいないかい？

僕は君が思うより

ずっと君を想っているけど

この形のない感情を示すのは難しい

君に会うと

何故こんなにも

君を求めてしまうんだ？

君に

君に

触れて

愛したくなるんだ

君のぬくもりを感じ

君の中を感じ

君を

君を



抱きしめながら

果てる

僕はようやく君の愛を感じ

安堵する

だけど

ひとたび離れてしまうと

不安なんだ

愛とは見えないものだから

君といくら話しても

全てを分かり合えない

どこまでいっても

わかり合うなんて無理だろう

君の微笑みを信じて

見えない君の心を信じて

僕はそれにしがみつく

でも

不安なんだ

もしかして

君の愛はホンモノ？って

見えないからこそ

不安になり

疑い

苦しくて

切ない

愛とは

心とは

見えないから

だから僕は君に触れていたくなる

君を

君自身を

分かりたくて

君の愛を

感じたくて

求めてしまう

君の優しさはホンモノ？

君のぬくもりはホンモノ？

愛は嘘つきだ

でも

愛が一番素敵だから

今は

今だけは

たとえそれにいつか裏切られても

もどかしい程に

狂おしい程に

僕の愛と君の愛を

今は

繋げて

安らぎたい

バイバイ

---

バイバイ

バイバイ

また会えるかな

バイバイ

多分会えないね

バイバイ

キミも気づいてるよね

バイバイ

うん、楽しかった

バイバイ

笑顔で別れよう

バイバイ

バイバイ

大好きだったよー

私は泣きながら笑顔を作り歩き出す

キミとは違う方向へ

移り香

あなたに抱きしめられた

ギュッと

ギュッと

鼻先を擦る

あなたの香り

私の中を熱くする

またね

あなたは名残り押しそうに

私を見つめ

去って行った

私も踵を返し

歩き出す

そよぐ風に

フワリとあなたの香りが

鼻を掠めた

あなたの香り

残ってる

私の身体に残ってる

移り香は

あなたに愛された名残り

私はまた熱くなる

あなたに包まれた時間を

思い出して

あなたの移り香が



どうか

ずっと消えませんが

あなたの愛が

どうか

ずっと消えませんが

キミに会いたい

久しぶりの声だけの会話

キミの色んな話

なんて返そうか

頑張れ

頑張れ

キミの弱音

その苛立ち分かってるつもり

大丈夫

大丈夫

ホントは

せっかく声が聞けたのに

言葉が出ない

言いたい事は

キミに会いたい

キミの声で

なまえ言われると

もっと

もっとって

心がわがままになる

会いたい

会いたい

キミに会いたい

言えなくて

もどかしいから

わがままは意地悪な言葉になる

そのくせ

弱いから

サヨナラって言えないんだ

ニコニコ笑って

またねになる

好きで

好きで

キミの声聞いただけで

涙が出そうになる

グッと堪えて

めいっばい強がる

またねって言ったのに

キミは無言で切らないんだ

受話器越しの沈黙は

多分

ごめんね

会えなくて

キミに会いたい

キミに

魔法の言葉

ねえ、魔法の言葉知ってる？

それはね、君からの好き

その一言で私は舞い上がるほど

嬉しくなって

機嫌が良くなって

強くなれるの

ずっと待ってたんだよ

君からの好き

分かってたけど

信じてるけど

会えないと不安になる

久しぶりに聞いた君の

魔法の言葉

好きだよ

私は今

最高にスマイル

電話

君と繋がる時間は

見えない電波に乗せて

声だけだ

前より会話が

弾まない

もう、お互い知り得てしまったせい？

そして

今さら、甘い言葉も

恥ずかしくて

口には出さない

だけど



この見えない線で

君と繋がる

この想いは前より

ずっとずっと太い筈

君の声が

今日も一日を明るくしてくれる

ありがとう

君がいる事にありがとう

だから

君を手放さない

手放せないほど

大切な存在

大切な君

見えない心を今繋げよう

もしもし？

元気？

ナイショ

ナイショよ ナイショ

あなたのTシャツを

めいっぱい匂いを嗅いで

その後ぎゅって抱きしめるの

あなたを感じて、あなたでいっぱいになって

胸がきゅーってなるこの瞬間

私のナイショの大好きな瞬間

ナイショだからね

愛蜜

あなたの指先が私を感じる時

私は甘くなる

甘くて秘めやかな蜜が溢れ出す

ねえ、何故だと思う？

あなたに愛されたいからよ

ただの蜜じゃない

私の愛の蜜

あなたが味わう為の

あなたを迎える為の

愛蜜

甘い愛蜜

今宵あなたの指先で

私を甘くして

あなた自身で

愛を告げて

私は受け入れるわ

あなたと私の心が互いの蜜で溶け合う

そんな時が極上の愛の時間よ

気づいたの

あんなに好きだよって毎日抱き合って

囁いてくれたのに

あんなに興味を持って毎日私の話を楽しそうに

聞いてくれたのに

今じゃ、たわいもない話ととりとめのないやりとり

私の話よりあなたの愚痴ばかり

あんなに会いたい、声が聞きたいって言ってくれたのに

ごめんぬ忙しい

こればかり

今は私ばかり求めて

気づけばいつも私だけ寂しい思い

ねえ、あなたの愛はどこに行ったの？

さみしいよ

苦しいよ

気づいてよ

でもね

気づいたの

どんなに忙しくても

必ず私を気にかけてくれて

私が落ち込んだ時はちゃんと

話聞いてくれる

優しい言葉くれる

忙しくても大変でも最後まで向き合ってくれる

もう甘くてドキドキじゃないけど

あなたの優しさに愛を感じたの

最初の好きより今の好き

ずっとずっとあなたの愛がつまってる

だから

私は今日も笑顔で

ほら

あなたの愛で笑ってる

欲しかったもの

---

欲しかったもの

私が探してたもの

見つかった

うん、多分分かってたんだ

分かってたけど

寂しさに負けて

自分の弱さに負けて

遠回り

私が欲しかったもの

逢えなくても

空を見上げた時

あなたの幸せを願えること



あなたの存在に感謝できること

互いに想えること

欲しかったのは

ピュアな心

今取り戻した気がする

欲しかったのは

そんな自分

さみしいから

もうさ、終わりだよ

そう感じたのは結構前

なのに

自分抑えて

作り笑顔で

もう、愛される事はないのに

何故かしがみつく

何したって空回り

こっちの気持ちは一方通行

分かってよ

もどかしくて

苦しくて

疲れた

やめたい

だけどまたもがいてしがみつく

どうしてだろう？

それはさみしいからだ

繋がっていたい

理由はなんでもいい

繋がっていたい

あなたは私のさみしさを埋めてくれる

他の誰かじゃなく

あなたしか出来ないから

あなたを私の心が

こんなにもまだ求めている

だから今日も

作り笑顔で

おはよう

いつまで続く？

心が折れそうな曇り空の日

優しくて甘えん坊な君へ

---

優しくて甘えん坊な君へ

今日はこんなことあった

あんなことあった

君からの何気ない日常を

私は聞いてあげる

楽しいことより

愚痴や弱音が多くなったね

うん

でも聞いてあげる

今日もお疲れ様

君が頑張ってるの知ってるよ

私だけに見せる甘え

私はちゃんと受け止める

だって

いつも君は優しいから

ちゃんと私の事気にかけて

どんなに忙しくても

私に微笑んでくれる

だから今日も私は元気になる

今日も甘えていいんだよ

私の元気で癒してあげる

二人の優しさ

いつ、いつまでも

続きますように



君に逢える

明日はやっと君に逢える

なかなか忙しくて

逢いたくても逢えない君

いつ逢えるか分からないのに

君は文句もわがままも言わず

待っていてくれる

君に逢う為なら

少しの疲れも寝不足もへっちゃらだ

君に逢える明日が

少しずつ近づいてるよ

僕はちょっぴり鼓動が速くなる



君の笑顔が

僕の頑張ったご褒美だ

早く

明日になれ

明日は

君に逢えるから

知ってる

知ってるよ

ちゃんとあなたは

私を想ってくれてる

出逢った頃より

素っ気ないし

出逢った頃程

会話ないけど

一日一回

どんなに忙しくても

今日はなにしてたの？

聞いてくれる

会いたい気持ちは

口にはしないけど

ホンの少し

あなたと繋がる時間

心が優しくなる瞬間

私はあなたの愛を感じる

今週休み取れた

ふふ

会いたって言えばいいのに

気持ち変わってないし

ふふ

好きって言えばいいのに

意外とテレ屋

私がスネると気づく

ごめん

好きだよ

ふふ

知ってるけどね

だって

あなたは

毎日私を想ってる

君と僕の夢

君と僕には夢がある

それはお互い違うけど

だけとお互いの夢を語り合える

君はいくらでも聞いてくれる

辛い時も

上手くいってる時も

君は頷き聞いてくれる

そして励ましてくれる

僕も君の夢を聞くのが好きだ

君はイキイキと輝いている

時に傷つき、時には悩むが

真剣に話す君は何だか健気で

僕はそんな君を愛おしく思う

君と僕の夢は違うが

僕らは語り合い

交わした時間は

見えない想いを深めてる

君が明日へ向かって微笑む

僕はそれを見て微笑む

僕も頑張るよ

君はきっと

そんな僕を好きだから

素直になれなくて

あなたに言いたい事

あなたに伝えたい事

沢山ある

沢山あるのに

私はなにひとつあなたに

伝えてない

上手に伝えられないの

胸が張り裂けそうになって

ドキドキが止まらなくて

あらぬ方向に話がいってしまい

いつも後悔する

もどかしいよ

好きよ

あなたが大好き

会いたい

Kissしたい

ギュッとして

ずっとずっと私だけ

私だけを好きでいて

そう言えたらいいのに

怖くて言えないの

嫌われたらどうしよう

引かれたらどうしよう



あなたを失うのが怖くて

気のない素振り

バカな女

そんなところ見せて

戯けてる

空回りな自分

キライ

素直になれたら

可愛いのに...

君に胸きゅん

キミは全然気づいてないけど

キミの何気ないコトバに

一々反応する

この心臓

どうにかして

キミのコトバは

ハートを射る矢

私の胸に突き刺さりまくり

この矢を抜いて

キミの手で...

でないと

私

キュン死してしまう

可愛い君に

はにかみながらも君が

甘えてくる

僕も恥ずかしいから

クールに装う

君は切なく僕を見つめる

その顔が堪らなくそそる

僕をそんなに好き？

僕がキライだと思ってる？

好きと不安が入り混じる君は

僕にしがみつく

君の気持ちは痛いほど伝わっている

抱きしめてあげよう

君が安心できるように

可愛い君を僕の胸に押し込めてしまおう

君を愛してる

僕が君をキライになる理由がない

小さな君が僕の腕の中で

安堵の笑みを見せた

その顔が一番好きだ

可愛い君に優しいKissをしよう

僕の気持ち伝わっただろうか...

恋のベクトル

アイツはあのコが好きで

私はアイツが好きで

コイツは私が好き

恋のベクトルは一方通行

私のベクトルがコイツに向けばいいんだ

簡単なコト

別にキライじゃない

イイ奴だ

惜しみなく私に愛をくれる

コイツを好きになったら

絶対幸せになれる

分かってるのに

私のベクトル動かない

報われない方向に向いたまま

なんでアイツなんだ？

どうしようもない奴なのに...

どうしてアイツが好きなんだろう？

教えて神様！

悔しいくらい

アイツが好き

私の夢

あなたの夢を聞くのが好き

夢があるあなたが好き

隣りでそれを眺めていたい

時々立ち止まる事もあるけれど

私はあなたを見放したりしない

だから

頑張って

前を向いてあなたの夢に向かって

そんなあなたを私は応援する

ずっと見守ってるから

あなたの夢が叶った時



最高のスマイル

見せてくれるよね

私の夢は

そんなあなたを見ることよ

冷たくしないで

---

冷たくしないで

私が腕を伸ばすと

あなたは抱きとめてくれる

甘えれば

優しくしてくれる

違う

私が欲しいのは

あなたから伸ばす腕

あなたからの優しさ

冷たくしないで

あなたから求めて欲しいの

あなたの愛を見せて

ほんの少しでいいから

もう一度

空を見上げると

何故にこんなに胸が苦しくなるのだろう

周りの風景は何も変わらず

人々は笑い、車は通り過ぎ

僕を構う事はない

孤独だな

寂しいよ

そんな時僕は無性に君に会いたくなる

今、君は何してるんだろう

しかしそれを知る術はない

君の手を離してから

もう随分経つが

未だこんなふうに

君の事思い出してしまう

最近君の顔に

ボンヤリ霞がかかっている

時が君を薄めていくようだ

それでいいんだろうけど

仕方が無いんだろうけど

もし願いが叶うなら

もう一度

もう一回だけ

君に会いたい

今度は君が薄くならないよう

瞼の裏に

君を焼き付けるんだ

こんなふうに

胸が苦しくなった時

君をハッキリ思い出せるように

もう一度

君に会いたい

別れ

君を

君を信じてた

君の言葉

君の瞳

君の微笑み

僕に向ける君の優しさ

僕だけにくれていたのかと

疑りもしなかったよ

突然の別れの言葉

本気？

君は僕なしで生きていけるの？

あんなに僕に甘えて必要としてたよね？

いつからだ？

いくら考えても検討もつかないよ

だけど僕は引き留めない

君をもちろん好きだった

悔しいけど今だって好きだ

だけどそれ以上に

君を許せない

許せない僕がいるんだ

だから

さようなら

クールに

出来るだけ気のない素振りで

君に別れを告げる

心の涙は誰も見る事はない





信じる

君に会えないと不安になってた

君が甘く囁いてくれないと拗ねていた

君の何気ない言葉にいちいち気にして

ウジウジしてた

君の好きが消えちゃいそうで

自分に自信なくて

だけど君からもらった素敵な言葉

胸の奥まで届いたんだ

その言葉を信じるよ

君の毎日の優しいメールが

きっと証拠だね

君の気持ち

見えないけど見えた瞬間

繋がる想いを

信じよう

互いが大切な

大切な存在

だからもう迷わない

笑顔で君の想いを受け止める

私の想いも受け止めて

大事な事は

信じる心

見えない未来

きつきつとずっと

君と手を繋いでいる事を

信じよう

君のため僕のため

来る日も来る日も

僕は仕事だ

楽しいよりも

辛い方が多くなった

やり甲斐があったあの頃とは違う

思うようにいかなかったり

人とぶつかったり

そんな時

いつも君は励ましてくれる

毎日毎日

笑顔で

だから僕は頑張れる

君の励ましは僕の活力だ

いつか

いつか僕が

成功して

君を守れるようになったら

その時は

君を迎えに行く

もう少し待っていて

必ず君を幸せにする

君の幸せは

僕の幸せ

君のため

僕のため

僕は頑張る

溢れて止まらない

最初はね小さかったの

あなたの存在

これぐらい

でも

気づいたら

あなたの事

毎日考えてた

気づいたら好きだった

そして

好きが重なって

気づいたら

もっと近づきたくて

もっと欲しくなって

今では

あなたの存在が

私の全て

埋めつくしてる

ほら

今も

あなたの幸せ

願ってる

今日も

あなたが笑顔で過ごせますように



明日は

あなたの願いが

少しでも叶いますように

そしていつか

あなたの夢が

実現できますように

毎日想ってる

いつでも想ってる

好きがLOVEに変わっていくよ

好きが止まらない

愛が溢れてる

伝える事はないけれど

言う事もないと思うけど

あなたを想う気持ちは

TRUE LOVE

今この瞬間も溢れて止まらない

別れの予感

星空は黙っている

私も黙っている

今夜は眠れそうもない

こんな日は

私の星屑になった想い人の顔を思い出してみよう

きっとあの光輝く星はあの人

こっちがあの人でしょ

そしてあっちは...

沢山の恋した人を思い出し

それぞれの甘い思い出にちょっぴり浸り

それぞれの別れに涙する

恋した数だけ

私は大人になる

今の恋はどんな甘い思い出を残し

どんな結末を迎えるのだろうか...

出来れば上手に

前より上手にお別れしたい

あの頃より

ちょっぴり大人になったんだから

だけどやっぱり最後は

泣くんだろうな

最高の別れ方

誰か教えて...

最高の別れ方なんて

なくせに

探してる

こんな事考え始めたら

もうこの恋は

終わりが近い

それは分かる

恋する度に

別れの予感だけは敏感になるから

眠れぬ夜

消えそうな恋に

怯えてる



優しさの向こう

僕は帰り道

いつもなんだか満たされた気持ちになる

君は朝からおはようと言ってくれ

雨の日は傘の心配

寒い日は風邪の心配

暑い日は体調の心配

そして仕事が終わると

お疲れ様って笑顔をくれる

君は僕を頑張っていると褒め労う

君の優しさに

ありがとう

君の優しさには愛を感じる

優しさの向こう側には

あたたかい愛

大好きな君に僕はちゃんと応えているだろうか

出来るだけ応えたい

僕の間違いなく大切な君に

誰よりも君を

想っていることを...

伝えたい

だから君の話

ひとつ足りとも聞き逃さない

応えるよ



どんなに忙しくても

君には誠実でありたい

それが僕からの愛

互いの優しさの向こう側には

僕達だけの愛が見える

スパイス

あなたが私を好きだって分かってるけど

時々試したくなる

恋の駆け引き

スパイス欲しい

けどあなたには通用しない

喧嘩になるかも...

それでもあなたは逃げないね

誤魔化しは効かない

ストレートにぶつかってくる

微妙な雰囲気

際どいムード

泣きそうになるくらい

拗ねてグズって

怒らせて

それでも最後は

ごめんね

I love you

意味がありそうなさそうな

二人のスパイス

少し散らして

二人の恋がまた少し美味しくなる

何度でも

こんなに君を好きなのに

こんなに君を想っているのに

君の目はいつもウソを探してる

疑りの眼差しは

僕の愛が伝わってない証

僕は悲しみに暮れる

どうしたら

僕の気持ちが伝わるのだろうか？

僕は言葉で示せない程君を愛してる

だから僕は君を抱く

何度でも

何度でも

君に愛を注ぐ

分かるだろ？

気持ちがなければ

こんなにも熱く愛せない

君と僕の吐息が重なる瞬間

揺るぎない愛を君に捧ぐ

オアシス

周りの取り巻く環境に

君は今もがき苦しんでいる

朝から晩までそれに振り回され

息つく間もない

君を苦しめる全ての事を取り除けたらいいのに

でも私は無力だから

せめて君のオアシスに

私はなりたい

そんな気持ちで今日も君に微笑むよ

この愛を信じて

今日も一日が終わる

穏やかな一日

毎日あなたの愛を感じるよ

言葉の端はしの思い遣り

どんな時でも

私には微笑みくれる

律儀な優しさ

どんな甘い言葉より

あなたの愛を感じる

大切に大切に

されてるって

実感

ありがとう

あしたもあさっても

この先ずっと

あなたの愛を信じてる



待つわ

私はいつもあなたの連絡を待っています

いつ来るか分からないけど

でも必ずくる

もう不安はない

あなたが私を想い

忘れていない事は分かってるから

あなたはとても

頑張っているから

私は待っています

いつまでも

いつまでも

あなたを信じて

かっこいいキミ

キミの横顔が好き

キミの涼しげな眼差しが好き

キミのあったかい手が好き

キミのはにかんだ笑い顔が好き

キミの話し方が好き

キミの甘いKissが好き

でも一番好きなのは

キミの生き方

キミのその前向きな男らしい心

かっこいいよ

私はその大きな背中

ドンと叩いて

頑張れ!!

エールを送る

恋する幸せ

ねえ、今日も私あなたの事考えてるよ

洗濯してても

お仕事してても

ふと想うのはあなた

今日もあなたは元気ですか？

笑顔ですか？

あなたが幸せにいる事ばかり考えてる

いつも、いつでも...

こうしてあなたの事を想う事を

私は幸せに想う

好きな人がいる

好きな人を想う

なんて素敵な事なんだろう

別にあなたが私を好きじゃなくてもいいの

それは好きになってくれたら嬉しいけど

でも贅沢は言わない

あなたに出会えたこの奇跡に感謝

あなたの存在に感謝

あなたを想える自由な私の心こそが

嬉しい

幸せ

あなたに恋してる

私...

キラキラ輝いて

生きてるよ

好きの重さ

今日も私はあなたの一言に右往左往

あなたの好きより私の好きは重いから

返す言葉に悩み

言葉に詰まる

そんな私にあなたは気づかない

きっと私だけ会いたい

私だけ寂しい

不安で押しつぶされそう

あなたの好きは

きっとほんの少し

私の存在はあなたのほんのちょっと



あなたの存在は私の全てなのに

どうして同じじゃないの？

同じくらい好きだったら

好きな重さが同じだったら

私はこんなに苦しくならないのに

ほんの少しのあなたの好きに

今日も私はしがみつく

まだ一人にはなりたくないから

フリーダム

僕はフリーダム

いつでも自由でいたいんだ

自由を掴むには平坦な道は歩けない

険しい道だけど

僕はあえて選んで突き進む

時々辛く躓く事もあるけれど

僕の選んだ道だから

立ち上がりまた前に進む

決してカッコいいわけじゃないけど

男らしくカッコいい生き様でいたい

君には見ていて欲しい

僕の傍で...

そして時に優しく

時に厳しく

僕を導いて欲しい

君がいるから

僕は強く生きていく

君と一緒に自由を手に入れたい

始まり方

あなたが会いたいと言った

私はどんな用事もキャンセルする

私も会いたいから

ドキドキする鼓動

会ったら直ぐに抱きしめて

壊れる程強く抱きしめて

想像する前夜

だけどきっと会ったら

素っ気ない態度で

強がる私に

あなたはきっと少し寂しい顔をする

せっかく会っても

手も握れない距離に座る

あなたは痺れを切らし

私を呼び寄せ手を握るだろう

そして躊躇しながら唇を寄せるだろう

いつまで経っても

ぎこちない始まり方

私は結構気に入っている

また明日

あなたが今日の最後に

必ずくれるメッセージ

「また明日ね」

バイバイでもなく

おやすみでもなく

また明日

私はこの言葉にホッとす

心が微笑む

だって明日も

あなたは私を想ってくれる

言葉の向こうに

あなたの気持ちが見える瞬間

会えない日の

少しの繋がり

優しさに満ち溢れた

素敵なラストの言葉

また明日ね

うん、また明日

空を見上げて

ふと空を見上げたら

うろこ雲がキレイだった

君も見てるかなあ

同じ空

もう秋だよ

今日も会えない君を

想い描き

話しかける

遠い遠い君を

今日も僕は

思い続けてる





葛藤

どうしてだろう？

君を想うと

涙が出る

こんなに

こんなに好きなのに

別れの予感がするんだ

きっと君の未来には

私はいない

今見えるのは

溢れ出した気持ちが

枯れそうな弱い心

好きで苦しくて

頑張れそうもない

限界は近い

終わりにしたい心と

終わらせたくない心が

葛藤している

君に見せたいよ

この心を

寂しいとき

わけもなく時折寂しくなる

そんな時

あなたは誰が恋しい？

私はあなたが恋しいです

あなたの面影は

段々薄くなってゆく

想いだけが私に留まり

時折暴れ出す

寂しい時

それはあなたが恋しい時

あなたに会いたい



## Love Power

君が元気なのは分かってた

君は意地っ張りだから

何も言わないけど

気づいていたんだ

会えなくてごめん

せめて

声だけでも

君に届けよう

どうした？元気ないね

君がポツリポツリと話し出す

僕は時間の許す限り君の話を聞くよ

君に笑顔が戻った

僕の大好きな笑顔だ

僕だけがホントの君を知っている

僕だけが君を元気に出来る

僕のLove Powerを君に

恋人の好き

あなたは知らないけど

最近

他の人から

好きって言われた

あなたは最近言ってくれないから

正直ちょっと揺れたよ

でも

あなたが久しぶりに気持ちを見せてくれた

好きだよ

この言葉で私は揺れていた心が

ピタリと止まった



欲しかったのは

違う人の好きじゃない

あなたからの好きだった

繋がる好きは

ハートが熱くなる

ハートが震える

ハッピーが溢れて

笑顔になる

好きな人から言われる

好きだよ

最高の言葉だ

私もあなたが好きよ

私の言葉で

あなたのハートを熱く震わせている？

あなたは笑ってる？

だといいな

君を

もう随分会ってませんが

お元気ですか？

この広いソラの下

君が今日も笑っていると

信じています

君とは終わってしまったけれど

僕は君が好きだった

笑った時少し上がる右の口角も

長い髪を束ねる仕草も

気にしていた小さな胸も

少し甘えた声の話し方も

僕は気に入っていた

君の僕の名前を呼ぶ声が

まだ時々聞こえる気がして

振り返る時がある

もちろん君はいないけど

でも

このソラの下

君がいる

愛してたよ

最後まで上手く言えなくてごめん

本当に君を

愛していた

君が消えない

---

君が消えない

君が恋しい

恋しい

恋しい

苦しくて切ない思い

振り向かない君

言えない自分

勝手に思って勝手に終わらせる

僕の心に

君が消えてゆく

君の心に僕がないから

弱虫な自分じゃ

君には振り向いてもらえないな

分かってるんだけど

僕はいつまでたっても

臆病で弱虫

ああ、また今日も

君の背中だけを

追っている

やっぱりまだまだ

君が消えない

僕の心は

君がいっぱい

秋の初めに

秋の虫が鳴いている

あの人と出逢ったのは

そういえばこの頃

初めてデートした帰り道

やっぱり秋の虫が鳴いていた

元気かなあ

月夜の晩に

遠い昔の恋人を

ふと思い出した

今夜の月は綺麗だよ

あなたが元気な事を願っています



私は月に微笑んだ

寂しくて

---

寂しくて

寂しくて

寂しくて

心が折れそう

苦しくて

苦しくて

胸が痛い

そんな時

訳もなく涙が出る

笑いたい

笑いたい

君の笑顔に触れて

笑いたいよ

たまには

心ないコトバで君を泣かせた

僕は未熟なヤツだから

つい君を傷つけてしまう

君も素直じゃなくなる

僕を責める

僕らは歪み合い

傷つけ合う

こんなハズじゃなかった

だってそうだろう？

僕達は傷つけ合う為じゃなく

優しさを持ち寄り

愛し合う為に惹かれたんだ

そう

簡単な事

ごめん

そして君を抱き寄せよう

愛してる

たまにはコトバにして

言ってみよう

きっと君は笑顔になるだろう

ラブレター

愛してる

愛してる

愛してる

君だけを愛してる

誰よりも愛してる

君の中で眠りたい

君に抱かれて眠りたい

君とずっとずっと

いついつまでも

ああ

好きだ

この気持ちを色褪せぬよう

ここに今

記しておこう

君に見せぬラブレター

あなたのハート

あなたのハートを

見てみたいな

私をどう思ってる？

あなたの言葉で

それを探す

あなたの態度で

それを探す

それが見えた時は

あたたかい気持ち

それが見えない時は

なんて悲しい気持ちになるの

お願い一度でいいから

あなたのハートを

開いて見せて

答えがどちらでも

私のハートは変わらないから

あなたを永遠に愛しています



愛を込めて

あなたを好きになったのは

最初はきつとなんとなく

シンパシーを感じたから

だけど

今は

あなたの人柄や

生き方が好き

あなたに近づく度に

あなたへの気持ちは

強くなる

だけど

だから

もう今の私は

あなたの負担にしかない

あなたを好きだから

あなたの心を解放してあげたいから

私は愛を込めて

この言葉を送ります

さようなら

お元気で

あなたの夢が叶いますよう

いつまでも願っています

寂しい今

誰でもいい

寂しくて

辛いから

私を抱きしめて欲しい

なんにも言わなくてもいい

そして私は

思い切り泣きたい

きっと泣いたら

なんてことない

ひとつの恋が終わっただけ

またスッキリして笑えるから



会ったらすぐに

君が寂しがってる

君が僕を求めてる

応えてあげたい

僕だって君が恋しい

会いたいけど

会えない

約束はまだ出来ないけど

もう少し待ってて

君に会えたら

会ったらすぐに

キツく抱きしめよう

沢山我慢させて

ごめんね

僕も寂しかったよって

抱き締めよう

君の感触がこの腕に記憶されるように

青空

青空に

今日も君を想う

青空に

新たな自分を誓う

青空に

君の幸せを願う

そして私は一人で歩き出す

青空にパワーをもらって...

名も知らぬ君へ

僕が知ってるのは君の横顔と後ろ姿だけ

毎日通う図書館で

君を見つけた

名前も知らない君だけど

君の読む本と君の横顔は

僕の中にしっかりいて

君がいない時も頭の中に君がいて...

あゝ

君に恋してしまった

あっ

君が立ち上がった



僕は後ろ姿を見送る

君のなくなった図書室で

君を想いこの胸を焦がす

ずっと

不安だったの

前より逢えなくて

前よりメールが少なくて

好きよりごめんが多くなって

もう終わりかなあって

好きな気持ちが折れそうになって

やめたい気持ちが強くなって

でもあなたを想わずにはいられなくて

切なくて苦しくて

泣いていた

だけど久しぶりにあなたが口にした言葉

君とはずっと...

ずっとなって別れがない事

ずっとなって変わらない私達の事

忘れてた

あなたが初めて口にした私への言葉

ずっとずっと君が好き

信じよう

あなたの見えないけど

変わらない愛

時にはおざなりになるけれど

見えない愛は続いている

ずっとずっと

変わらずに...

どんな時も信じる心忘れずに

君が

---

君が

君が寂しそうだ

僕は切ない

君が悲しそうだ

僕は苦しい

君が笑うと

僕はホッとする

君が好きと言ってくれる

僕はやっぱり嬉しくなる

今日も君が好きだよ

君が嬉しそうに笑った

君が元気になると

僕も元気になる

情事

欲情に身を任せた

激しいくらいあなたとの情事

狂った欲望だけを打ち込む情事

荒げた息に

恋はない

噴出す汗に

愛はない

なのにラストは必ずじっと見つめ合う

君と繋がっている

ええ

あなたと繋がっている

忘れていた愛が蘇る瞬間

溢れる気持ちであなたにしがみつく

愛を注いで下さい

負けないで

最近笑わないあなた

それでも私に微笑む優しさ

切なすぎて

無理な微笑みが

胸に突き刺さる

どうしたらあなたが自由になれるか

どうしたらあなたが心から笑うか

分かっているの

あなたに今必要なもの

けどしてはいけないのよね

あなたは自分で立ち上がろうとしてる



自分の力で羽を広げ

飛び立つのを

私は見守ってるだけ

この地上で

もどかしさで胸が痛むけど

この位置から

あなたにエールを

負けないで

思いやり

ああ、今日のご機嫌が悪い

ああ、今日はテンション高い

まったく君は分かりやすいヤツだ

君の気分は手に取るように分かるけど

君の気持ちは...

ああ、見えたよ、見えた！

甘ったれでぐずったれなヤツだけど

ほら、優しさは誰よりもある

どんなに忙しくても

私の話に耳を傾けてくれる

私が不機嫌になると

悪くもないのに直ぐ謝る

そして

どんなに辛くても

どんな悲しくても

頑張るよ

笑ってみせる

私はホッとして

優しい気持ちになるの

君が優しいから

私も優しくなれる

柔らかな優しさ

好きだからこそ

君だけに私だけに

思いやり

想いやり

オアシス

砂漠のような私の心に

潤いが欲しくて

流されて

流されて

でもどこにも辿り着かないの

渴いた砂漠は広がる一方

ねえカラカラなの

私のオアシスは何処にあるの？

あるはずの場所には干上がっていて

足りないの

助けてと手を伸ばしても

差し伸べてくる手はどれも違う

私の欲しい手は

そうあなたの手

もう一度

あの頃のように

愛してると囁いて

流されて

流されて

私は何処に辿り着く？

時の過ぎゆくまま

流されて

最後は誰の手を取るのだろう...

きっと誰の手も取らず

朽ちてゆくのかもしれない

いや、誰の手も取らず

自分で立ち上がり

自分で自分のオアシスを作ってみせよう

私は生きている

KISS

ジッと見つめるあなたの視線が熱くて

身体中から湧き上がる羞恥

ねえ

なんか言ってよ

瞳の奥の気持ちを聞きたい

だけど

あなたは黙って私の唇を塞いだ

熱く甘いそのキスは

あなたの気持ちが伝わる

言葉はなくても

愛を感じるそのキスで

身も心もあなたに溶けていくよ

唇が離れると

優しい目の中に私がいた



大切

最近君は愛が足りないと

僕に不満を漏らすことが多くなった

ふて腐れてる横顔ばかりだ

そんなことはないだろう

ほら今日だってこうして君と一緒にだ

今だって僕に絡みつく君が愛おしいよ

そりゃあ毎日愛を囁くのは勘弁だが...

ねえ、僕は最初になんて言ったか覚えてるかい？

君を大切にする

そう言ったこと今でも覚えてる

そして今でも君を大切に思うんだ

気持ちは変わってない

ちゃんと君を好きだよ

ふて腐れた君の唇にキス

君が満足そうに微笑んだ

その笑顔

大切にするよ

心から想う

恋するキミの代弁者～恋愛編～

<http://p.booklog.jp/book/86045>

著者：キミイ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/kimiynoheya/profile>

AKHTAR AHMAD 表紙Photo

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/86045>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/86045>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ